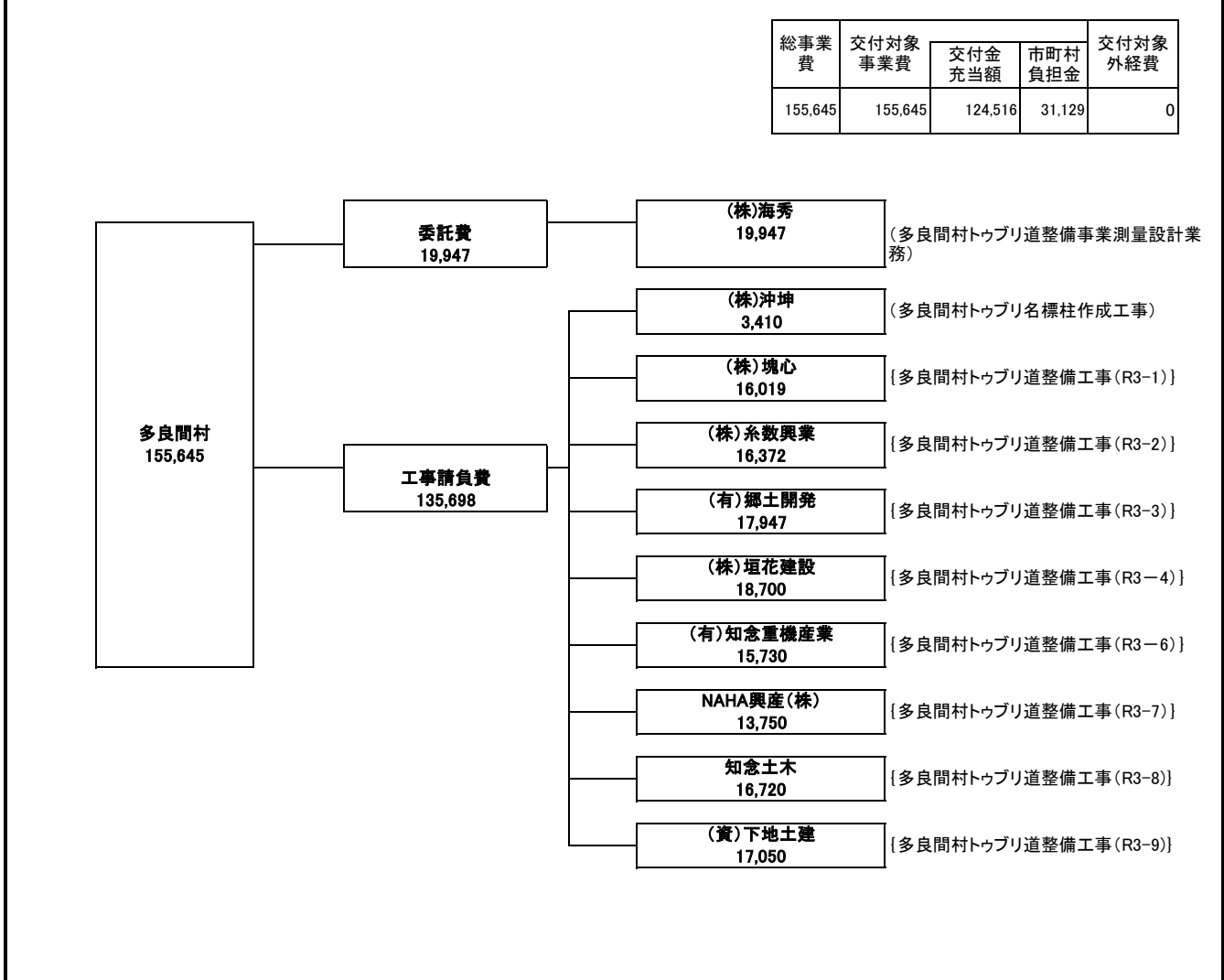


市町村名		多良間村					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	多良間村トゥプリ道整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ		
担当部署名	土木建設課		事業実施(予定)年度	令和3年度	観光地整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	トゥプリ道を整備して村民の親水の場として活用し、新しい観光メニューの創出による誘客につなげる。トゥプリ名標柱を設置して児童生徒の郷土学習に役立てる。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R6年度	
		(a)当初予算額	160,778				
	(b)予算現額	155,646					
	(c)増減額(b-a)	▲5,132	0	0	0	0	
	(d)繰越額		94,681				
	A.計(b+d)	155,646	94,681	0	0	0	
	B.執行済額	66,097	89,548				
	うち交付金充当額	52,877	71,639				
	次年度繰越額	94,681					
	執行率(%) (B/A)	42.5%	94.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	工事ヶ所が沖縄県自然公園指定地域であり、特別地域内における工作物の新築許可に不測の時間を要したため工事が遅れ、予算の繰り越しをして工事を完成させた。設計内容の変更と入札残があったため、事業費の減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	測量、設計業務を発注して工事図面を作成し、トゥプリ道整備工事発注して完成させる	目標	図面作成、工事完成				
		実績	図面作成、工事完成				
		目標					
	実績						
達成状況説明	令和3年度に、測量設計業務を発注して、図面を作成し、工事を発注を行った。当初年度内の完了する計画で進めていたが、自然公園法に基づく許可申請手続きに想定以上の時間を要したため、一部工事が年度内に完了することが出来ず、令和4年度に繰越され完成に至った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	年度	R3年度	R5年度	目標値(年度)
	トゥプリ道整備工事の完成	目標	()	()	(工事完了)		()
		実績			工事完了		
	①多良間を訪れる観光客数:10,825人 ②住民へアンケートを行い、「多良間村の歴史・文化への理解が深まった(80%)」について、事業の効果を検証する。	目標	()	()	()	(観光客10,825人、住民アンケート歴史文化理解80%)	
		実績				-	
進捗状況説明	自然公園法に基づく手続きの関係で、工事の中止期間があり、年度内完了ができないため、令和4年度への繰り越し事業として完成した。成果目標については、令和5年度に検証する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	自然公園法の指定地域等の調整に時間を要してしまい、許可申請手続きも遅れてしまい、目標年度内の完成ができなかった。計画時点での詳細な調査が必要であった。	工事の完成を村内外にPRして、さらなる観光誘客及び交流人口を増やす取り組みを検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
事業の目的を、達成するため適正な管理とPRを行い、島の活性化につなげ交流人口を増やす。 ①新聞、村ホームページ等の活用を行い、周知を行う。 ②小、中学校の校外活動、社会教育活動の各種学級への紹介し、活用してもらう。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不用額は4,106千円であり、不用額を減らす様に取り組む必要がある。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	